2027年3月期 中間期

決算説明資料

証券コード：6797

名古屋電機工業株式会社

2026年11月

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

理想をかなえる、にひたむき。

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

目次

1. 事業概要

2. 2027年3月期 中間期 実績

3. 2027年3月期 通期 業績予想

4. 中期経営計画　進捗状況

5. APPENDIX

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

1. 事業概要

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

会社概要

商号
名古屋電機工業株式会社

本社所在地
愛知県あま市篠田面徳29-1

代表取締役社長
服部 高明

設立
1958年5月

拠点
札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、鹿児島
美和工場（愛知県あま市）、七宝工場（同）

子会社
株式会社インフォメックス松本（長野県安曇野市）

関連会社
Zero-Sum ITS Solutions India Private Ltd.（インド）
日本セック株式会社

従業員数（連結）
409名（2026年3月31日時点）



(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

事業概要

事業内容　道路情報板を中心とする各種情報提供システムの製造及び販売

- エンドユーザーの多くは、道路管理者（国土交通省、各高速道路会社、地方公共団体など）であり、公共事業が中心
- 企画から設計、生産、製造、設置、メンテナンスまでワンストップで提供
- 情報提供システムの製造・販売による収益に加え、設置・メンテナンス等のサービス提供による収益によって成り立つ
- 主力製品である道路情報板に加え、車載・仮設の標識装置を含む各種情報提供システムを網羅的にラインアップする国内唯一の専門メーカー



(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

2. 2027年3月期中間期 実績

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

2027年3月期　中間期 実績（連結）

- 売上：大型案件における土木工事等の前工程の遅れにより、売上計上が後ろ倒しとなり、前年同期比で減収
- 利益：売上減少に伴う固定費負担の増加に加え、資材価格・外注費の上昇や案件構成の変化により、営業損失を計上

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	増減率 対前期
売上高	5,616	4,752	△15.4%
営業利益	1	△468	－
経常利益	17	△433	－
親会社株主に帰属する中間純利益	221	△325	－
1株当たり中間純利益	18.83円	△27.61円	－

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

3. 2027年3月期 通期 業績予想

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

2027年3月期 通期 業績予想（連結）

- 売上：大型案件の工期後ろ倒し等の影響により、前期比で減収を予想
- 利益：売上減少や案件構成の変化、資材価格・外注費の上昇等により、前期比で減益を予想
- 通期見通し：2026年5月公表の通期業績予想から変更なし

（単位：百万円）

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減率 対前期
売上高	17,307	16,000	△7.6%
営業利益	1,749	660	△62.3%
経常利益	1,794	710	△60.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,518	560	△63.1%
1株当たり当期純利益	129.24円	47.67円	－
1株当たり配当金	45円	50円	－

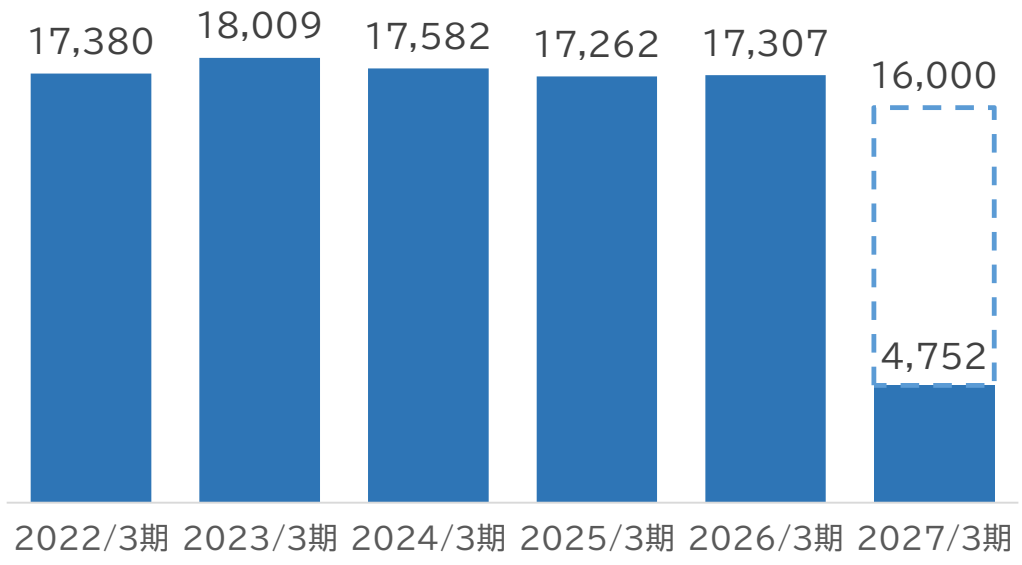
2027年3月期1株当たり配当金は普通配当45円00銭、記念配当5円00銭を予想しております。

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

業績推移（連結）

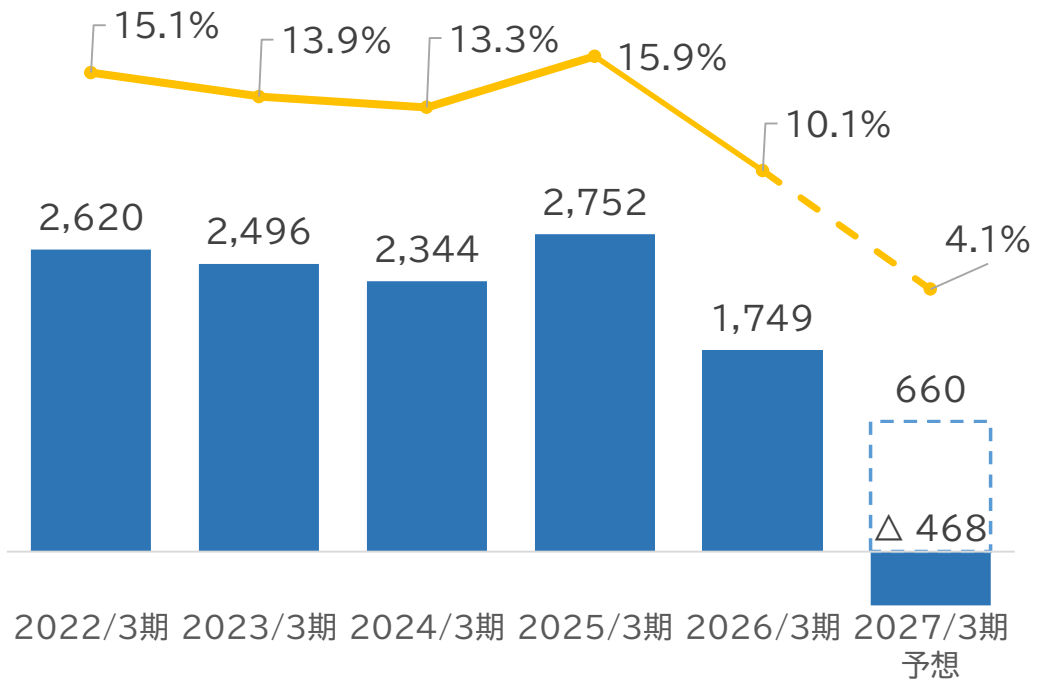
売上高

（単位：百万円）



営業利益・営業利益率

（単位：百万円）



受注残高

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
中間期末	18,938	23,205	20,090	20,306	21,204	18,113
期末	17,845	18,905	17,682	16,655	16,704	–

受注残高は前期末比8.4%増の
181億円。大型案件の進捗管理を強化

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

4. 中期経営計画 N-PLAN2026 進捗状況

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

中期経営計画の概要　N-PLAN2026（FY2024-FY2026）

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

■中長期的な道路インフラ関連投資の動向

公共事業: 堅調	防災・減災ニーズ: 拡大	道路ネットワーク: 高度化
新規道路建設　修繕・更新需要	道路の耐災害性向上の必要性	自動運転・デジタル化

道路インフラ関連投資は中長期的にも堅調と予想するが、当社として中長期の市場環境のボラティリティ（社会環境の変化）への対応が必須

■基本方針

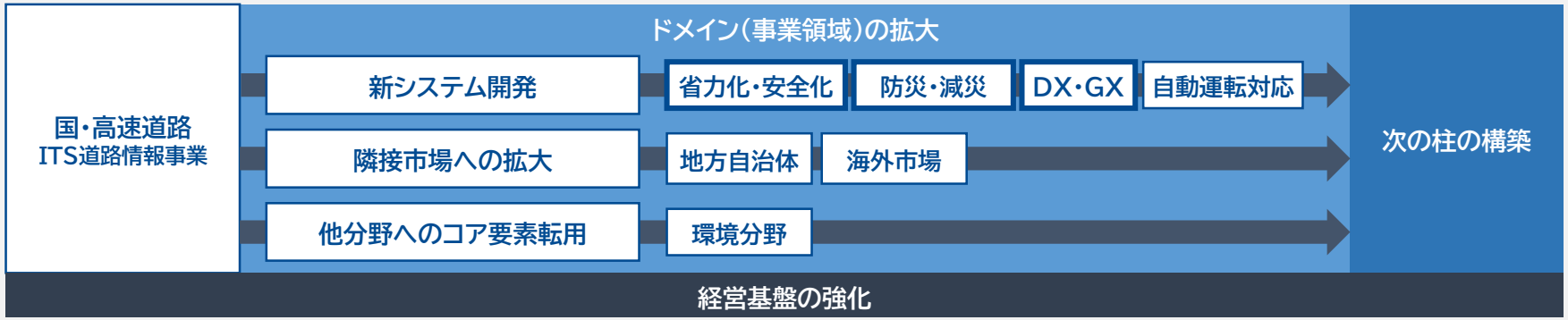
国や高速道路向けの既存事業では、新システム開発を強化し、将来の成長と収益を確保する

隣接する市場への事業拡大や、環境分野での技術応用の可能性を探る

M&Aも含めた積極的な投資を行う

2026年4月に社会実装推進室を発足。新規事業の立ち上げを加速させる

■重点施策



■経営指標（2026年5月修正）

- 売上高 160億円
- 営業利益率 4%以上
- 新システム販売比率 10%以上
- ROE 2.3%以上
- 配当性向 30%下限 累進配当
- PBR 1倍以上

■VISION

国内外の市場に挑戦し、ニーズを先取りした新システムで社会に貢献できる企業をめざします。

- 情報板メーカーから道路交通安全を守る総合設備企業に変容します。
- 新たなモビリティーに対応し、環境価値を高めるインフラ整備を促進します。

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

中期経営計画の概要 N-PLAN2026（FY2024-FY2026）

キャッシュアロケーション: 株主還元方針を変更

研究開発投資

お客様・社会課題解決のためのソリューション提供

【省力化・安全化】インフラ大規模修繕の施工現場ニーズを取り込み

【防災・減災】IoTを活用、必要な安全情報をタイムリーに提供

【 DX・GX 】ソフトソリューションで環境負荷に配慮したインフラ整備を推進

自動運転社会に対応したソリューションの探索

25~30億円　FY24-25実績 17.7億円

営業キャッシュフローの創出

50~60億円　FY24-25実績 43.0億円

成長投資

設備投資

- ITを活用した生産性の向上
- 職場環境の改善
- 研究開発設備の充実強化
- 事業基盤の維持投資

M&A等

- 既存事業の深化
- 事業領域の拡大
- 経営人材・チームの獲得
- グループシナジーを創出し得る事業資産の獲得

40~45億円　FY24-25実績 13.7億円

株主還元

株式分割・自己株式の取得等

配当

配当性向30%を下限とした累進配当とし、前年の普通配当実績の水準に対して維持又は増配

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

活動報告 – 防災・減災分野

アンダーパス冠水事故防止対策への取り組み

- 2026年10月、国土交通省がアンダーパスの冠水事故防止に向けたガイドラインを策定。
- 予防的な通行規制や車両進入防止対策の強化が求められるなか、当社では従来から「くろうず君」「バルーン式遮断機」など、冠水事故防止に向けた関連製品を開発・展開。
- 今後、道路管理者による冠水対策の強化を見据え、関連製品の提案を進める。

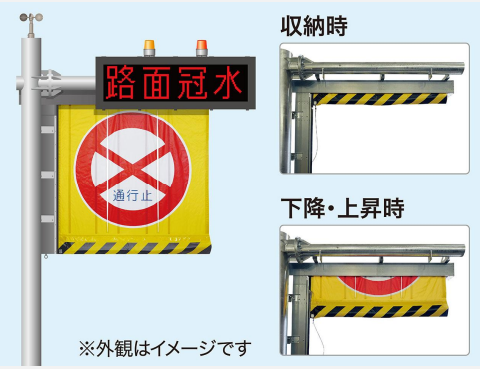
アンダーパス冠水事故防止に向けた関連製品



路面冠水表示板



バルーン式遮断器



シート型通行止め表示装置
くろうず君®



エアー遮断器

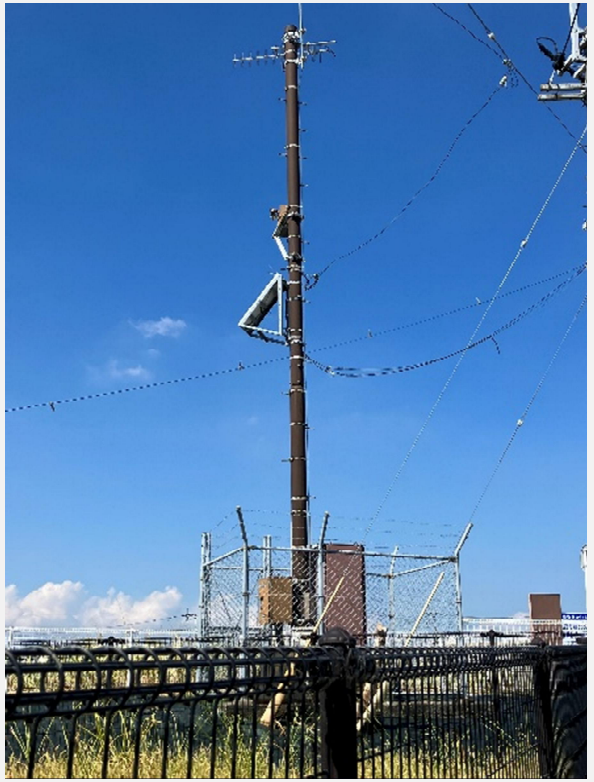
(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

活動報告 – 環境分野

次世代薄膜太陽電池の実用化に向けた取り組み

- 当社では、カルコパイライト太陽電池を活用し、道路付帯設備などへの適用に向けた複数の実証事業を進めている。
- 2026年10月、福岡県において、水位観測設備（テレメータ）を対象とした新たな実証事業に採択。
- 2026年12月から、商用電源に依存しないオフグリッド運用の実現に向けた検証を進める。

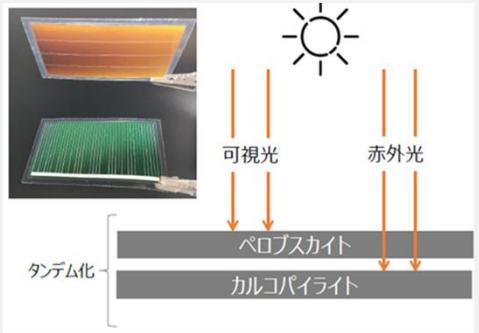
次世代薄膜太陽電池の実証と技術開発



水観測設備（テレメータ）



カルコパイライト太陽電池



将来的なタンデム化も視野に

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

活動報告 – 製品開発（省力化・安全化）

インフォメックス松本における新製品開発

- インフォメックス松本では、仮設信号機などで培った技術を活かし、新たな電源製品の開発・展開を進めている。
- 2026年10月、マイナス20℃の寒冷地でも使用可能な大容量ポータブルバッテリー「電神」を発売。
- 工事現場での利用に加え、防災・BCP用途への展開を図るとともに、当社グループの顧客基盤を活用した販路拡大を目指す。

大容量ポータブルバッテリー「電神」



(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

株主還元方針

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要テーマの1つとして掲げております。
事業基盤の強化及び企業価値向上に向けて、安定かつ継続的な還元を実施するため株主還元を見直し、
N-PLAN2026の期間において配当性向30%を下限とする累進配当を導入しました。

配当方針

配当性向30%を下限とした累進配当とし、
前年の普通配当実績の水準に対して維持又は増配

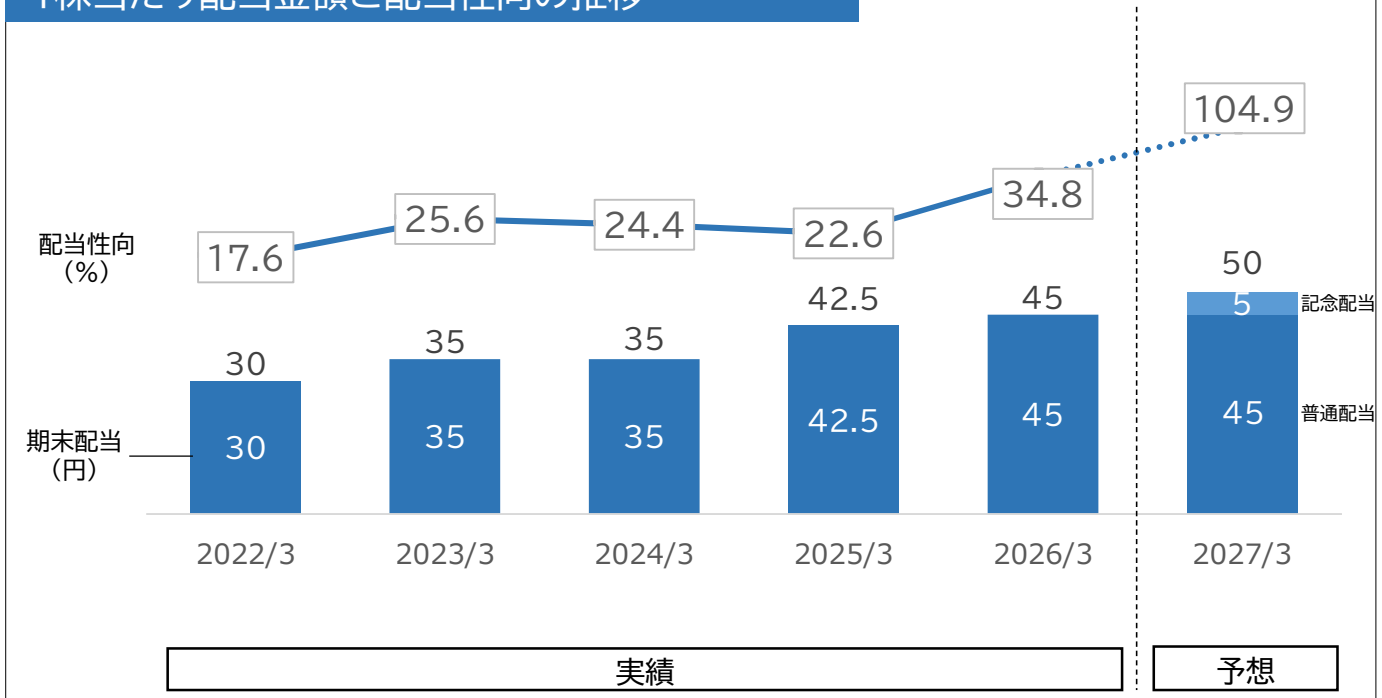
（変更前： 配当性向30%以上を目安に安定的に配当）

1株当たり配当金

2026年3月期	2027年3月期
45円	50円
期末配当	期末配当（予想）

※普通配当45円00銭 記念配当5円00銭　記念配当につきましては、累進配当の基本方針には該当しないこととさせていただきます。

1株当たり配当金額と配当性向の推移



2025年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
グラフに記載の1株当たり配当金は、すべてこの株式分割が行われたものと仮定して換算した金額です。

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

5. APPENDIX

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

財務状況（連結）

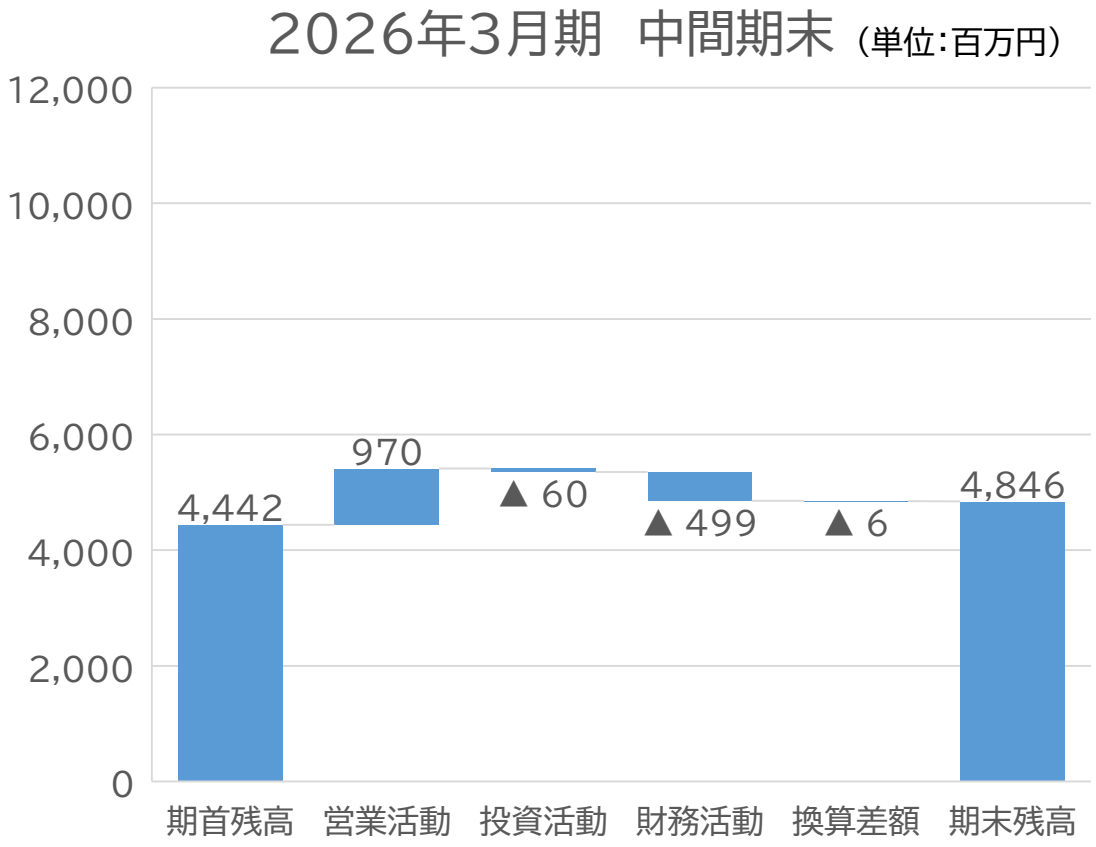
（単位：百万円）

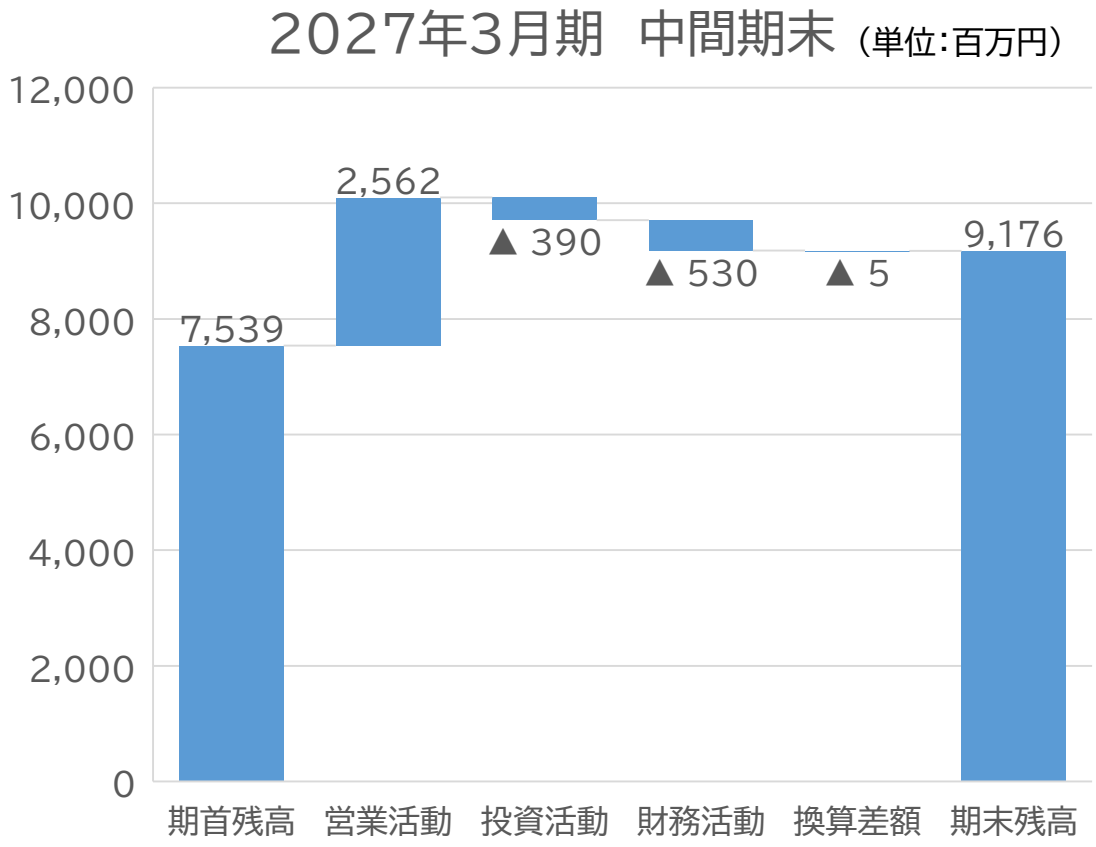
		2026/3期末	2027/3期末 中間期末	増減
資産の部	流動資産	19,800	17,070	△2,730
	固定資産	9,436	10,106	669
	有形固定資産	5,619	5,486	△132
	無形固定資産	158	196	37
	投資その他の資産	3,658	4,423	764
	資産合計	29,237	27,176	△2,060
負債の部	流動負債	4,664	3,105	△1,559
	固定負債	581	614	33
	負債合計	5,246	3,720	△1,526
純資産の部	株主資本	22,783	21,971	△812
	資本金	1,184	1,184	0
	資本剰余金	1,507	1,521	14
	利益剰余金	20,826	19,953	△873
	自己株式	△735	△689	46
	その他の包括利益累計額	1,207	1,485	277
	純資産合計	23,990	23,456	△534
負債純資産合計		29,237	27,176	△2,060

(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

キャッシュフロー（連結）

- 当連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,636百万円増加し、9,176百万円となった

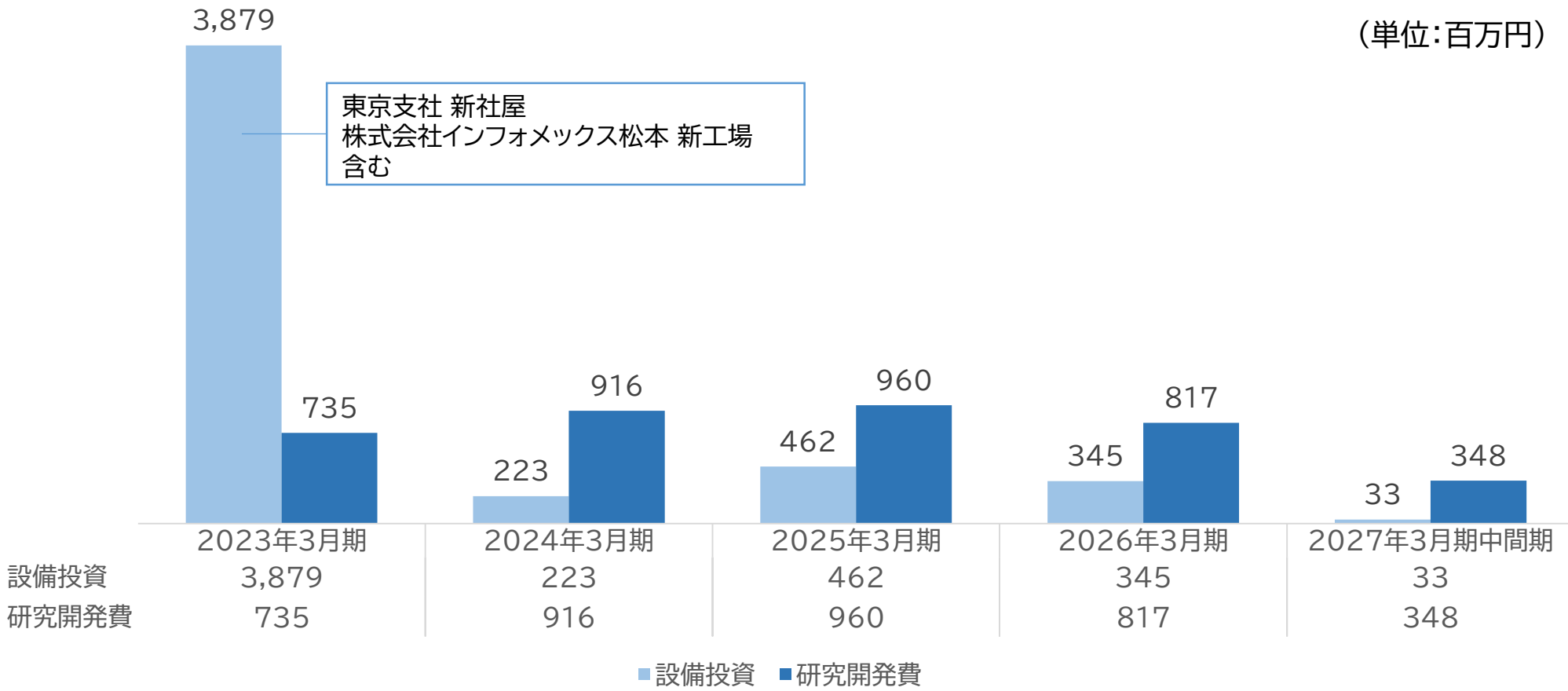




(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

設備投資・研究開発費推移（連結）

（単位：百万円）



(C) 2026 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

本資料お取扱い上のご注意

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。

また本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会時点の入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。